

ており、日本のBMIランキングは54カ国中41位となっています。いまや中国や韓国の方が高く、日本のビッグマック価格は先進国としては破格の安さとなっています。これだけ見れば他の国よりも物価の上がり方が緩やかでいいんじゃないかと思えますが、1個のビッグマックを購入するのに必要な労働時間をもとに物価に比した賃金水準を推計すると、ビッグマックの価格が安い国は賃金も安いことになり、日本の労働力は世界的に見ても安くなっていることが示唆されます。

一方、牛乳の各国での基準販売価格にも大きな差異があるようです。少し古い2018年のデータになりますが、牛乳1リットルあたりの価格は、日本で208円であるのに対し、アメリカ 127円、チェコ 90円とかなり安い国もあれば、台湾 335円、香港 428円と非常に高い国もあります（総務省統計局 小売物価統計調査）。牛乳に関してはそれぞれの国の酪農事情が異なると思いますので一概には言えませんが、日本では2023年1月平均で232円と上がっており、こちらもインフレの影響を大きく受けているようです。

観梅もファストフードも、生活必需品もすべて値上げ。鎖国時代にはなかった、“超・グローバル時代”の宿命でしょうか……。さて、ニッサンメールマガジン第190号をお届けします。(O)

生乳生産における飼料費について

先述の通りですが、昨今の情勢を受けてこの数年で国内の牛乳の価格は上昇しており、スーパーでもそれは日々実感するところです。そんな中、非常に耳の痛い話にはなりますが、今回は酪農のお金にまつわる話題を紹介いたします。



図1

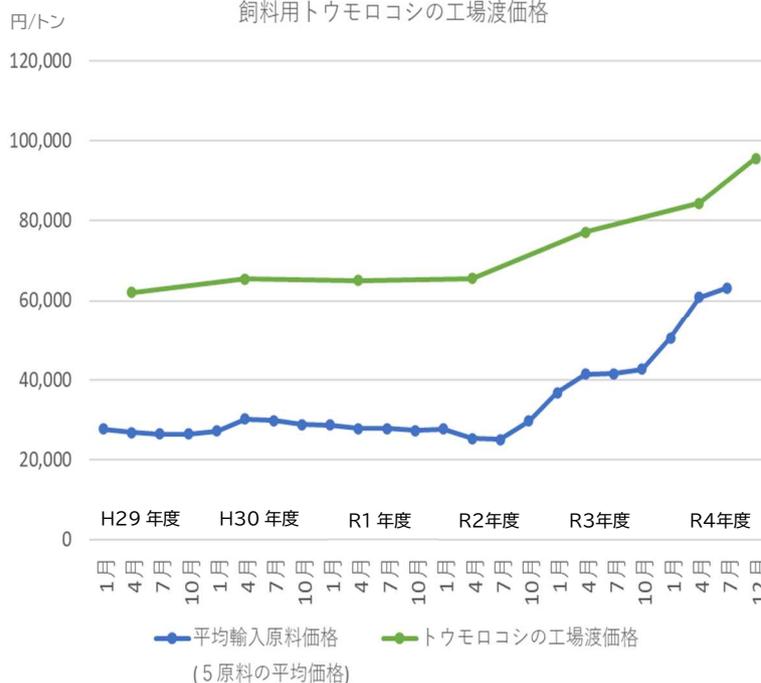
コロナ禍やウクライナ情勢の影響で、穀物価格や肥飼料価格が上昇しているのは周知の通りですが、実際に酪農経営へどのように影響しているのかについて、経費の面から見ていきます。毎年公開されている農林水産統計によると、生乳を生産するための経費のうち、物財費が全体の80%を占めていますが（図1）、経費として真っ先に思い浮かぶ、飼料費、光熱費、診療費などは、この物財費に含まれています。

物財費の中でも全体の半分近くを“飼料費”が占めていますが、令和3年度は前年度比で7.7%増加しており、生乳100kg当たりの飼料費としては300円ほど高くなっています。

次に、飼料費に直結する、飼料の主原料価格の推移を見ていきます。図2の青線は、5原料（とうもろこし、ごうりゃん、大豆油かす、大麦、小麦）の平均輸入価格の推移になりますが、令和2年度から上昇の一途となっています。飼料用トウモロコシの工場渡価格の推移（同・緑線）も同じように令和2年度から急騰し、令和4年12月には5年前のおよそ1.5倍となっており、令和4年度の生乳生産費はさらに上昇しているものと思われます。日本の濃厚飼料の自給率は12~13%程度であるため、飼料費は主要原料の輸入価格に大きく影響を受けてしまうのが現状です。

このように生乳生産費の多くを占める飼料費ですので、目にとまりやすく、コストを抑えるためにまず手を加える部分になりがちです。しかし、畜産は生き物相手であるため、飼料や微量栄養素の過度な削減は、家畜の健全な機能を損ないかねません。乳牛の場合、泌乳期のケトーシスに始まり、繁殖成績の低下や、乳房炎などの疾病の増加に繋がれば、削減した飼料費以上に診療費などの出費が増えてしまう可能性もありますから、飼料の中で要・不要の選択をし、最適な設計で給与する事が求められています。生乳の生産抑制もある中で、実際の酪農を取り巻く環境は数字が示している以上に厳しいものとなっていると思われまます。厳しい情勢がしばらく続きますが、飼料ロスを減らした、より最適な飼養管理が必要となります。(T)

図2 平均輸入原料価格(5原料の平均価格)
飼料用トウモロコシの工場渡価格



お知らせ

酪農・豆知識（第 132 号）の概要および URL

牛の子宮捻転は難産の原因の一つであり、発見や治療の遅れにより胎子の死亡や母牛の予後不良につながります。近年、難産における子宮捻転の割合が高まっていることから、酪農・豆知識では 3 回（第 132 号、133 号、134 号）にわたり、乳牛における子宮捻転の発症メカニズムを整理し、その発生要因や予防策ならびに整復にあたっての注意点について紹介していきます。

「酪農・豆知識」は、[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「技術情報」をクリックし、「酪農・豆知識」のページに入るとご覧になれます。ぜひご利用ください。

印刷用の PDF ファイル

印刷用に PDF ファイルを添付しました。PDF ファイルをご利用いただくためには、Adobe Reader が必要です。お持ちでない場合、[こちらからダウンロードし、インストールしてご利用ください。](#)

メールマガジンへの登録・ご質問等

メールマガジンの配信の停止や登録内容の変更、お問い合わせ、ご意見・ご要望等々は[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページをご利用ください。

アドレス変更をお忘れなく

人事異動、転退職等でメールアドレスが変更になった場合で、引き続き日産合成工業株式会社のメールマガジンの配信を希望される方は、旧アドレスと新アドレス及び新所属等を[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページを利用してお知らせください。配信できなくなったアドレスは、メーリングリストから自動的に削除しておりますので、よろしくお願いします。

QRコード

QRコードから、[当社のウェブサイト](#)のトップページにアクセスできます。

